

ご挨拶

第 29 回日本時間生物学会学術大会の開催にあたって



第 29 回日本時間生物学会学術大会 大会長
飯郷雅之（宇都宮大学農学部教授）

第 29 回日本時間生物学会学術大会を 2022 年 12 月 3 日（土）～12 月 4 日（日）の 2 日間、宇都宮大学峰キャンパス（栃木県宇都宮市）において開催いたします。

日本時間生物学会は、1994 年に設立された学際的な学会です。基礎生物学および臨床時間生物学の体内時計研究者を中心として設立されました。この分野における中心的な学会として、国内外より高い評価を得ています。

2021 年の第 28 回日本時間生物学会学術大会は沖縄で開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染も落ち着き、大会関係者の皆様のご尽力もあって、対面とオンラインのハイブリッド開催となりました。2022 年の第 29 回日本時間生物学会学術大会においては、新型コロナウイルスの感染防止対策を整え、対面での学術大会開催を予定しています。

宇都宮は、古くから二荒山神社の門前町、宇都宮城の城下町として繁栄し、江戸時代には五街道のうち、日光街道と奥州街道の分岐する地点となった歴史を持ちます。そこで本学術大会のテーマは、「宇都宮で考える時間生物学の過去、現在、未来」といたしました。集団レベルから個体レベル、器官レベル、細胞レベル、分子レベル、さらには原子レベルに至る、さまざまな階層の生物リズムと体内時計に関するこれまでの時間生物学の歴史を振り返り、現在の立ち位置を認識し、さらに行く末を見据えて進んでいくための礎となる学術大会たることを確信しています。宇都宮でみなさまにお目にかかれるのを楽しみにしております。